



ジェネックス今月のトピックス♪



仲間が増えました

11月1日から一緒に働く仲間が二人増えました。



名前: 草薨修司さん

血液型: B型
趣味: ドライブ

抱負
いち早く、仕事を覚えて
戦力になれるように
頑張ります！



名前: 三浦健太郎さん

血液型: A型
趣味: 競技スキー

抱負
自然エネルギーを促進し、
地球温暖化防止に
貢献したいです！

電力自由化から7カ月 新電力への変更は200万件を突破、されどたったの3.3%【環境ビジネス】

電力広域的運営推進機関(OCCTO)は、4月の電力小売りの全面自由化後から7カ月で、電力の購入先を新電力へ変更した契約件数が209万100件になったと発表した。200万件を突破したものの、総契約数の3.3%にとどまる。特に北陸電力と中国電力のエリアで切替え件数の低さが目立つ。

OCCTOは11日、消費者による電力購入先の変更を支援する「スイッチング支援システム」について、10月31日までの利用状況を取りまとめ公表した。

消費者による電力会社の切り替え(スイッチング)開始の申請件数(209万件)を電力会社別にみると、東京電力パワーグリッドが118万9,800件で全体の57%を占める。続く関西電力の42万3,400件を合わせると、首都圏と関西圏で全体の8割を占める。北海道電力は10万5,100件、東北電力は6万5,100件、中部電力は16万2,600件、九州電力は11万2,100件。一方、北陸電力は7,400件、中国電力は9,900件、四国電力は1万4,700件で、沖縄電力は0件だ。

注目記事



【感謝状】

平成28年9月3日木曾川河口付近において
人命救助をして名古屋市海上保安より
感謝状を頂きました。

三浦健太郎さんより一言
既に意識がない状態でしたが、必ず助けてみせ
るという思いで救助しました。



先日ドナルド・トランプ氏がヒラリー・クリントン氏よりも多くの得票数を獲得し、アメリカ合衆国の第45代大統領に指名されました。

トランプ氏はエネルギー政策についてどのような発言をしているのでしょうか。

3回にわたった米大統領の選討論会で、再生可能エネルギーに対して批判的なコメントを繰り返し風力にも太陽光にも経済性に疑念を持っており、タービン製造業者やパネル製造業者は負け組とまで発言をしています。一方、米国をエネルギー自立できる国にすると主張しています。今後の米国クリーン・エネルギー産業拡大に悲観的な見解が多いものの、具体的なエネルギー政策については、実際のところ詳細はまだ整っていない点が多いようです。

太陽光発電産業が生み出す雇用で最も多いのは、施工業者であり2010年には約4万4000人ほどだった施工業者数は、2016年には約14万人にまで拡大しています。

このように地域に根付いた施工業を中心に太陽光発電産業は、米国の雇用創出そして拡大に大きく貢献してきました。

雇用拡大、経済活性化に太陽光発電が貢献してきたという事実が焦点が当たれば今後も太陽光発電が拡大する可能性は大いにあるようです。

※地代や賃借料の払い忘れにお気を付け下さい※

「ジェネックス通信」毎月1回発行「いつでもお問い合わせください。」

株式会社ジェネックス 〒447-0871 愛知県碧南市向陽町4丁目79番地ウィルビル3F TEL:0566-91-4131 FAX:0566-91-4139